監督・主将 INTERVIEW

佐相眞澄監督

監督

秋・春いずれもベスト３２と、まだ一皮むけていないと思います。失点も３～４点に抑えないといけないです。

しかし、だいぶ結果が出てきたと感じています。投手陣については、２年の石井は伸びしろがあり、急速も１３０キロを超えてきました。３年・河原もだいぶ育ってきてくれたので、リリーフ登板があるかもしれません。打撃力は、昨年に引けをとらないくらいになってきました。一番・柴田は両方向に打てる打者であり、三番の後藤寛も頼りになります。市川は打点が高い選手です。深澤は運動能力が高い選手で、伸びてきています。下位打線も打てる選手が並んでいます。

優勝するまでには、ベスト１６・８、準決勝とたくさんの壁が連なりますが、それを越えるための練習はしてきました。とにかく一戦一戦、目の相手を分析して勝利したいです。結果は後からついてくると思います。

主将

２年生投手を３年生の野手がどう支えるかが大事だと思っています。

２年・石井は多彩な変化球を中心にしてカウントをとります。３年・河原はきれいなフォームでストレート主体に勝負する投手です。２年・近藤は、低いところから浮き上がるような、打者から見づらい球を投げます。

打線は、一番柴田と三番後藤寛が軸です。いずれも出塁率が高く、一番が出て二番が送り、そして三番で返すというのが理想です。

自分たちは、挑戦者という気持ちで、一戦一戦臨みたいです。そして、厳しい神奈川を勝ち上がり、甲子園でも勝てるチームになりたいです。

この夏では、一戦一戦頑張っていくので、ＯＢ・ＯＧの皆さんには、ぜひ応援をよろしくお願いします

外野手 **市川 周**

相模原市立大野北中学校出身、３年

※インタビューはいずれも五月下旬に実施しました。